

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		諸税賦課事務				担当課	市民税課	担当係	税制係	管理番号	18121
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち				事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	地方税法、深谷市税条例、深谷市税条例施行規則			
	小項目	4	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		軽自動車税（種別割）、市たばこ税及び入湯税を適正に課税するものである。									
目的 ※何のために		市政運営の財源となる税収の確保									
対象 ※誰・何を対象に		軽自動車税（種別割）については4月1日に軽自動車等を所有する方、市たばこ税については卸売販売事業者等、入湯税については鉱泉浴場の経営者（特別徴収義務者）									
手段 ※どのように		申告書等に基づいて課税処理を行う。									
成果 ※何を求めるか		適正な課税及び調定を実施する。									
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	2	徴税費	1	税務総務費	諸税賦課事務費		19,859,095
本事業の 主な業務		・軽自動車税（種別割）電算システムの変更・修正						・市たばこ税の申告受付			
		・軽自動車税（種別割）の賦課（登録、廃車等）						・入湯税の申告受付			
		・軽自動車税（種別割）の減免						・軽自動車税（種別割）、市たばこ税及び入湯税の調定			
		・課税客体の実態把握						・			
		・軽自動車税（種別割）納税通知書の発送						・			
		・原動機付自転車標識等の交付						・			

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		軽自動車税関係手続のオンライン化対応	軽自動車税（種別割）の賦課、納税通知書の発送	軽自動車税（種別割）の賦課、納税通知書の発送	軽自動車税（種別割）の賦課、納税通知書の発送		
事業費	予算（現額）	13,254,000	14,306,000	17,379,000	22,484,000	28,144,000	
	決算額	13,026,420	13,501,266	15,551,550	19,859,095	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	65,662	95,500	105,000	99,500	21,000
	一般財源	12,960,758	13,405,766	15,446,550	19,759,595	28,123,000	
人件費	従事職員数（人）	1.90	2.05	2.15	2.15	2.05	
	人件費相当試算※	14,952,159	16,420,839	17,677,819	18,225,753	18,057,402	
総事業費試算		27,978,579	29,922,105	33,229,369	38,084,848	46,201,402	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
		実績値の算出式								
活動指標 1	軽自動車税（種別割）課税台数	目標値	台							
		実績値		62, 776. 00	63, 526. 00	64, 463. 00	64, 853. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		軽自動車税の課税台数に変動があるため目標値の設定ができない/決算時の課税台数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	市たばこ税申告納付社数（手持品課税除く。）	目標値	社							
		実績値		2. 00	3. 00	3. 00	3. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申告納付になるので目標値の設定ができない / 決算時納付社数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	市たばこ税調定額	目標値	百万円							
		実績値		1, 060. 98	1, 062. 34	1, 041. 42	1, 035. 57			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申告納付になるので目標値の設定ができない / 決算時調定額							
	実績値の算出式									
成果指標 1	諸税の賦課に関する誤り件数	目標値	件	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
		実績値		0. 00	0. 00	0. 00	0. 00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		適正な課税を行うため、誤り件数の目標値を0件とする / 実際の誤り件数							
	実績値の算出式									
活動指標 4	軽自動車税（種別割）調定額	目標値	百万円							
		実績値		467. 82	481. 84	498. 31	510. 27			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		軽自動車課税台数に変動があるため目標値の設定ができない / 決算時調定額							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	軽自動車税（種別割）に関しては、前年度と比べると課税台数が390台の増加、調定額が約1, 196万円の増加だった。また、市たばこ税に関しては、前年度と比べると調定額が約585万円の減少だった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	諸税の賦課に関する誤り件数は、0件だった。
			評価者 税制係長 伊藤雅人

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	関係する他の機関との連携のもとに必要な情報を得ながら効率的かつ円滑に事務を行うことができた。
			評価者 税制係長 伊藤雅人